

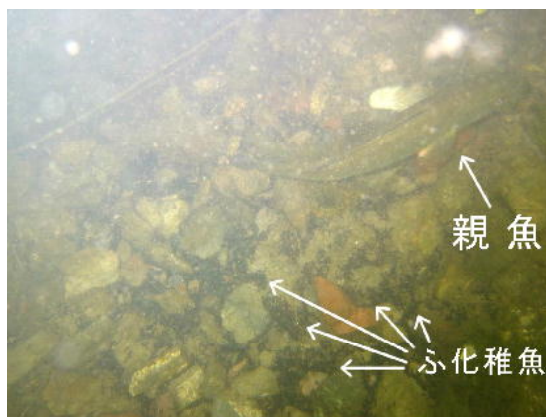
外来魚ブルーギルの効果的な駆除技術

外来魚であるブルーギルを駆除するため、産卵生態を活用した効果的な手法を開発しました。

産卵床内の卵や稚魚を守っている雄親魚を除去し、他の魚が卵や稚魚を食べ易いようにしてブルーギルの繁殖を抑制する方法です。しかし、産卵床を構成する砂利が大きいなど、状況によっては、稚魚が生き残りやすくなるため、このような場合は、卵がふ化する前に繰り返し親魚を捕獲することが必要です。ブルーギルの産卵床は、水深1 m前後に集中するのが特徴で、発見しやすく、効果的な駆除が可能です。



ブルーギル



親魚は、他の魚による卵や稚魚の食害を防ぐため産卵床を守ります（写真は近縁種のコクチバス）。親魚を除去してしまうと、産卵床内の卵や稚魚は、ウグイなどの外敵に食べられてしまい、効果的な駆除につながります。



ブルーギルの産卵床。中央部に荒い砂利が多い。稚魚は、砂利の隙間に身を隠し、外敵から逃れることが知られている。

